

平成30年度 生涯学習・社会教育関係職員研修講座

## 「第1回センター研修兼前期新任職員研修」

平成30年5月18日(金) 会場(青森県総合社会教育センター 第1研修室)

受講者数 48名

平成30年度生涯学習・社会教育関係職員研修講座における「第1回センター研修兼前期新任職員研修」が5月18日(金)に当センターで実施されました。今年度は前期新任職員研修も兼ねて行うということで、関係機関の新任職員のほか、市町村教育委員会の生涯学習・社会教育関係者や関係団体等の職員も一緒に受講するスタイルで開催しました。

本研修講座は、職員の資質向上のため業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、担当者間のネットワークづくりを主なねらいとしています。今回は午前中に国立教育政策研究所社会教育実践研究センターから専門調査員の **國府田 大** 氏を講師にお迎えし、社会教育行政が担う役割について基礎的・基本的なことから、国の最新の情報を踏まえた内容の講義をいただいたことで、生涯学習・社会教育関係職員にとって非常に充実した講座となりました。また、午後にはネットワーク形成のきっかけづくりとして、情報交換の場を設定しました。

### 1. 講義1:「社会教育行政が担う役割」

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター専門調査員の**國府田 大**氏より、「社会教育行政が担う役割」と題し、「社会教育行政職員として身に付けておきたいこと」「社会教育に係る国の動向」などについて御講義をいただきました。

#### 【概要】

#### 1:「社会教育行政職員として身に付けておきたいこと」

##### (1) 社会教育関係法令

##### (2) 社会教育と生涯学習

・社会教育とは、学校又は家庭において行われる教育を除き、広く社会において行われる教育のこと。

・生涯学習とは、自己の充実や生活の向上のために、人生の各段階での課題や必要に応じて、あらゆる場所、時間、方法により学習者が自発的に行う自由で広範な学習のこと。

##### (3) 社会教育行政

・社会教育行政の役割の変遷

今後の社会教育においては、地域課題解決学習の取組を進める観点や、社会の変化に対応した学習機会を提供していく観点からも教育委員会と首長部局の連携という行政内部での連携はもとより、NPO、大学、企業などの多様な主体との連携を促進し、官民パートナーシップによる社会教育の推進を図っていくことが求められる。

##### (4) 社会教育行政の課題

・地方の行財政改革の進展に伴う社会教育行政の変化

・まちづくり、高齢者福祉など多様な行政部局が関係政策を展開

・NPO、大学、企業などにより、従来行政が担ってきた社会教育振興の分野に多様な主体が参加。

※「ネットワーク型行政」として社会教育行政を再構築することが必要。

【講義1: 國府田専門調査官】



## 2：「社会教育に係る国の動向」

### (1) 学校・家庭・地域の連携・協働

#### 【地域と学校の目指すべき連携・協働の方向性】

- ①「開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換
- ②「子供も大人も学び合い育ち合う教育体制」の構築
- ③「学校を核とした地域づくり」の推進

### (2) 社会教育主事養成の見直し

- ①社会教育主事講習・養成課程における科目及び単位数の改善が図られた。
- ②社会教育主事講習等規程の改正により、「社会教育士」と称することができるようになった。

## 2. 講義2：「県社会教育行政の方針と重点」

県教育庁生涯学習課企画振興グループ 学サブマネージャーより、県社会教育行政の方針と重点についての解説と、今年度の重点施策・事業について、具体的な取組について説明していただきました。

【講義2】：谷村サブマネージャー



## 3. 演習：「市町村の生涯学習・社会教育事業に係る情報交換」

### 【アイスブレイク】



演習は、コミュニケーションを活性化させ、円滑な情報交換を行うことで、今後のネットワーク形成を図ることを目的に、当センター職員が担当しました。

始めに、アイスブレイクを行いました。A3判の用紙に折り目をつけて6つに区分けし、その1マスに自分の名前を書き、それ以外の5つのマスには「好きなもの・こと」などをイラストで描きます。グループのメンバーはそのイラストの内容について順番に質問し、相手との交流を図るといった内容で行いました。

### 【グループでの話し合い】



次のグループワークでは、『となりまちの取組は?』をテーマに、それぞれが、今年度取り組んでいる業務について付箋に書き出しました。それを「地域における重要度」を示したベクトル軸に合わせて貼った後、「自分の達成度」を区分けし、グループで課題改善に向けて必要なことを話し合いました。そして、課題改善に向け取り組むための『自分たちへの応援テーマ』を作り、グループ毎に設定理由を踏まえながら発表し合いました。最後は、全員で名刺交換会を行い、新たなネットワークの形成を図りました。

## 4. 受講者の感想

- ・社会教育と生涯学習の違いや普段疑問に思うことについて学ぶことができた。基本的な法令と絡めた説明が分かりやすかった。
- ・今年度、社会教育課に初めて配属され、社会教育のことについては全く分からない状況でありましたが、本日の研修会により、多くのことを楽しく学ぶことができました。今後の業務に活用していきたいと考えます。
- ・事務分掌上、地域学校協働活動に関わりが深いため、今回の講義で再確認したことを活かしていきたい。
- ・午前には社会教育について学び、とても勉強になった。また、午後はグループでの活動により、みんなからパワーをもらい、とても元気になった。やる気が出た。

【名刺交換会】

